

防災減災に関する取組

1 令和元年度稚内市総合防災訓練

実施日	令和元年10月27日
場所	稚内大谷高等学校
参加人数	350名
目的	地域の防災体制の強化と市民の防災意識の高揚
訓練内容	警報伝達訓練、展示訓練、部分訓練（応急救護・患者搬送・ロープ結索・器材取扱）、総合訓練、器材展示



## 2 出前講座

対象者	町内会、学校、団体等
講座内容	災害に関する事、申請のあったグループと話し合い決定
参加人数	200人



### 3 警戒レベル運用説明会

実施日	令和元年8月27～28日
場所	市役所
参加人数	200人
目的	市職員を対処に警戒レベル運用の理解



#### 4 地域防災における交流会

実施日	令和2年2月21日
場所	稚内総合文化センター小ホール
参加人数	70人
目的	町内会や企業・団体が行っている様々な防災活動を共有し、地域防災力の向上を図る



R01.09.29 日 浅茅野地区自主防災会防災訓練実施

- ・内容については別紙のとおり、

R01.08.27 防災講話（小石）

- ・自然災害について・猿払村の避難所・自分で、できる災害対策

R01.11.18 防災講話（浜猿払）

- ・自然災害について・猿払村の避難所・自分で、できる災害対策

R01.11.15 日赤奉仕団炊き出し訓練

- ・ハイゼックスやビニール袋を使った炊き出し訓練

令和元年度 浅茅野地区自主防災会防災訓練実施結果

〔目的〕

近年、大雨による河川氾濫や短時間の局所的な豪雨による急激な河川増水が各地で発生し、甚大な被害をもたらしており、浅茅野地区においても例外ではない為、猿払川の氾濫を想定し、人的被害を最小限に抑える為の訓練を実施し、地域住民の自助・共助の防災意識をさらに強化することを目的とする。

〔主催〕

浅茅野地区自主防災会 会長 大西 芳昭（浅茅野地区自治会）

〔協力機関〕

猿払村（総務課情報防災係）

〔開催日時〕

令和元年9月29日（日）10：00～13：00

〔開催場所〕

浅茅野交流センター

〔参加人数〕

- ・浅茅野地区住民 28名（住民基本台帳9月末現在：35世帯・66名）
- ・猿払村役場 2名（総務課情報防災係2名）
- ・猿払支署 1名（支署長・見学）

〔訓練内容〕

- ・避難訓練（大雨・洪水警報）・Doはぐ（避難所運営ゲーム）・炊出し訓練・防災資器材取扱訓練（自主防災会役員実施）

浅茅野地区防災訓練タイムスケジュール

令和元年9月29日（日）10時00分～	
10：00	○想定・・・大雨により猿払川が氾濫するおそれがある為、浅茅野交流センターへ避難（10時15分までに避難） ・音声告知放送にて「避難勧告」放送実施。
10:00～10:15	□避難訓練（避難勧告放送後） 自主防災役員で避難誘導 ※避難完了時間（10：15）
10:15～11:30	□Doはぐ（避難所運営ゲーム） ・長屋の説明で参加住民がDoはぐ（避難所運営ゲーム）を実施。
11:00～12:30	□炊き出し訓練（避難訓練後、実施） ・給食給水班（2名）作業開始（11：00～） ・参加者試食兼昼食（11：30～） ※アルファ化米と各種缶詰め試食 □防災資器材取扱訓練（自主防災会役員実施） （12:15～12:30）
12:30	□閉会 □全日程終了

浅茅野地区自主防災会防災訓練【R01.09.29】



日赤奉仕団炊き出し訓練【R01.11.15】





## 浜頓別町の取組

### ■小学生を中心とした防災教育の実施

#### 浜頓別小学校一日防災学校

- ・ 日 時 令和元年9月10日(火)
- ・ 実施主体 北海道、浜頓別町、浜頓別町教育委員会
- ・ 内 容  
全学年…防災関係車両の見学、ドクターヘリ搬送訓練の見学  
1・2学年…新聞紙スリッパづくり  
3・4学年…土石流災害について3D上映  
5学年…ハイゼックスを使った災害食の調理  
6学年…避難所運営体験



## 令和元年度中頓別町減災に関する取組事例

### 1. 中頓別町総合防災訓練

令和元年10月16日に、各関係団体様協力のもと防災訓練を実施致しました。

想定につきましては、大雨による警戒レベル4発令までの訓練であり、災害対策本部の召集、避難広報、住民避難、避難所運営、消防・自衛隊による救助連携訓練、炊出し訓練を実施。会場内では、自衛隊、気象台、開発局、消防の各種資機材の展示体験や備蓄品展示などのブースを設置。また、気象及び防災講話を実施し終了としている。

参加は、関係機関を含め130名、内町民35名と少人数ではあったがたいへん充実した訓練となった。炊出し訓練や車両乗車など初めての試みであり、次年度よりの参加者増につながったと考えている。

#### 「炊出し訓練・車両試乗・車両展示」



「避難者受け入れ」

「健康チェック」



「各種展示」



「備蓄段ボールベッド」



「照明車」



「土嚢作製設置訓練」

建設課、消防団による訓練。



「炊出し訓練」



「防災講話」



「救助者捜索、救助訓練」



2. 中頓別小学校 1日防災学校

・ 1, 2年生 「新聞紙スリッパ作製」



・ 3年生 「災害から暮らしを守る」



・ 4年生 「ハザードマップを作ろう」



・ 5年生 「台風について」



・ 6年生 「避難所運営体験」



3. その他

- ・ 移動系防災無線、戸別受信機の整備を本年度整備、令和2年度運用開始
- ・ 住民に対し、自主防災組織づくりについて説明会を実施。

# わが家の防災メモ

〈避難場所のメモ〉 災害別にどこに避難すればいいのかをメモしておきましょう。

	洪水のとき	土砂災害のとき
指定緊急避難場所		
指定避難所		

〈家族のメモ〉 家族のデータを記入しておきましょう。

家族の名前	生年月日	血液型	持病・常用薬 アレルギーなど	緊急連絡先	電話(勤務先/学校)
	M・T・S H・R 年 月 日	Rh(+-)			
	M・T・S H・R 年 月 日	Rh(+-)			
	M・T・S H・R 年 月 日	Rh(+-)			
	M・T・S H・R 年 月 日	Rh(+-)			
	M・T・S H・R 年 月 日	Rh(+-)			

# 緊急連絡先 (市外局番 0163)

- 警察 **110番**  
枝幸警察署 **62-0110**  
枝幸警察署 乙忠部駐在所 **67-5151**  
枝幸警察署 歌登駐在所 **68-2821**
- 火事・救急車 **119番**  
枝幸消防署 **62-1119**  
枝幸消防署 歌登分署 **68-2820**
- 枝幸町役場(本庁) **62-1234**  
歌登総合支所 **68-2111**
- 枝幸町国民健康保険病院 **62-2111**  
枝幸町国民健康保険歌登診療所 **68-2341**
- 北海道電力 浜頓別ネットワークセンター  
(停電、電柱・電線などの設備に関する問合せ) **0120-06-0140**

## 災害用伝言ダイヤル 171

電話を利用する声の伝言板です。

171にダイヤルするとガイダンスが流れます

録音の場合 1 を押す 再生の場合 2 を押す

「被災者」は自分の電話番号を、  
「被災者以外」は被災者の電話番号を  
市外局番からダイヤルしてください

1 伝言を録音 ※30秒以内 1 伝言を再生

9 終了 8 もう1度聞く

9 別の伝言を聞く

(※固定電話や携帯電話・PHS・IP電話が利用可能です)

## 携帯電話各社の災害用伝言版

携帯電話などを利用して安否を登録・確認が可能。地震や風水害などで被災地との連絡が困難になった場合に災害用伝言版が開設されます。

各社公式サイトトップ画面「災害用伝言版」を選択

伝言を残す(登録する) 伝言を読む(確認する) 場合、登録を選択 場合、確認を選択

現在の状態を「無事です」などの選択肢から選び、携帯電話の番号を任意で100文字以内の伝言を入力する

登録を選択

# 枝幸町 水害ハザードマップ



も く じ

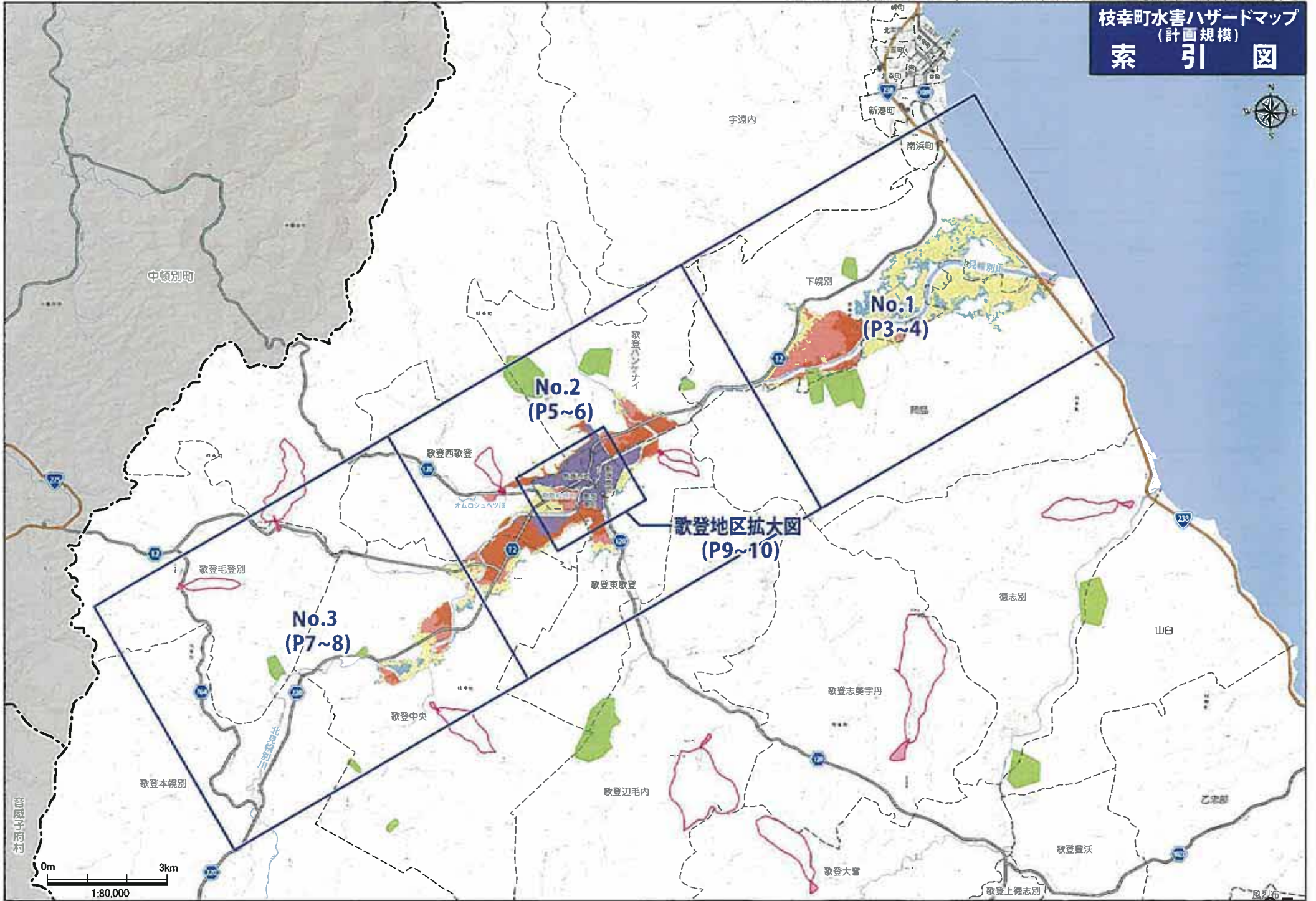
枝幸町水害ハザードマップ	1~12
避難場所一覧表	13
適切な避難行動を確認しよう その時、とるべき行動 (水位危険レベルに応じた避難行動)	14 15~16
非常持出品・非常備蓄品を備えよう	17~18
わが家の防災メモ/緊急連絡先	19



このハザードマップはサマージャンゴ宝くじの収益金を活用して作成しています。

2020年2月

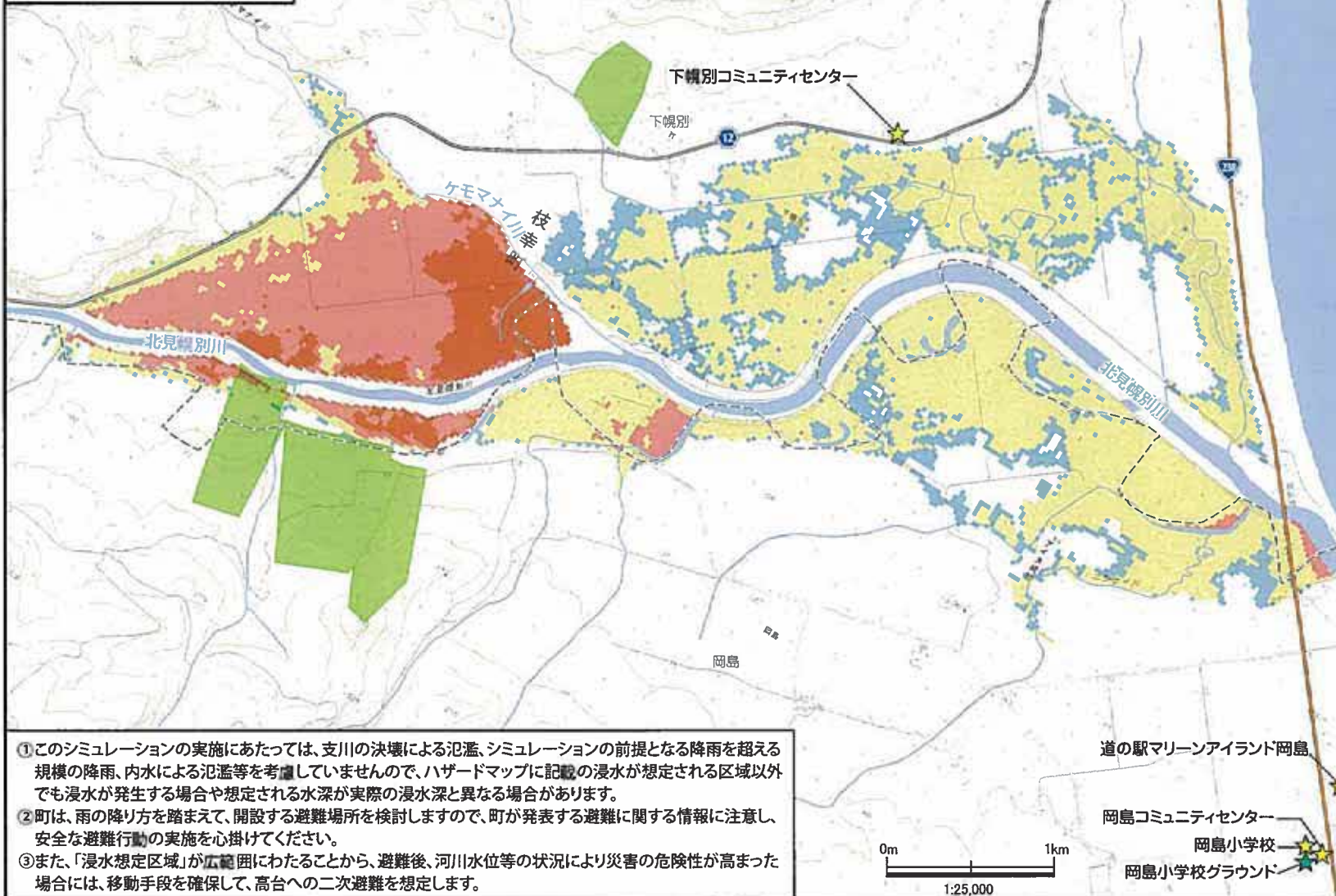
# 枝幸町水害ハザードマップ (計画規模) 索引図





このマップは、北見幌別川・オム口シュベツ川について、水防法の規定に基づき、計画規模の降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深を表示しています。

河川名	計画規模の降雨量
北見幌別川 流域	145mm(12時間)

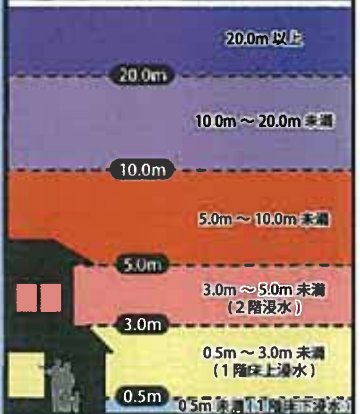


## 枝幸町水害ハザードマップ (計画規模) No. 1 (1/25,000)

この図は、北見幌別川が大雨が降って堤防が壊れるなどして氾濫した場合、浸水が予想される区域と浸水の深さを示したものです。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのかを確認してください。

さらに、土石災害(土石流・がけ崩れ・地すべり)が発生するおそれがある箇所を示しています。自分の住んでいる周りに危険箇所があるか確認するとともに、この危険箇所を越えない避難場所までの経路を選択しておきましょう。

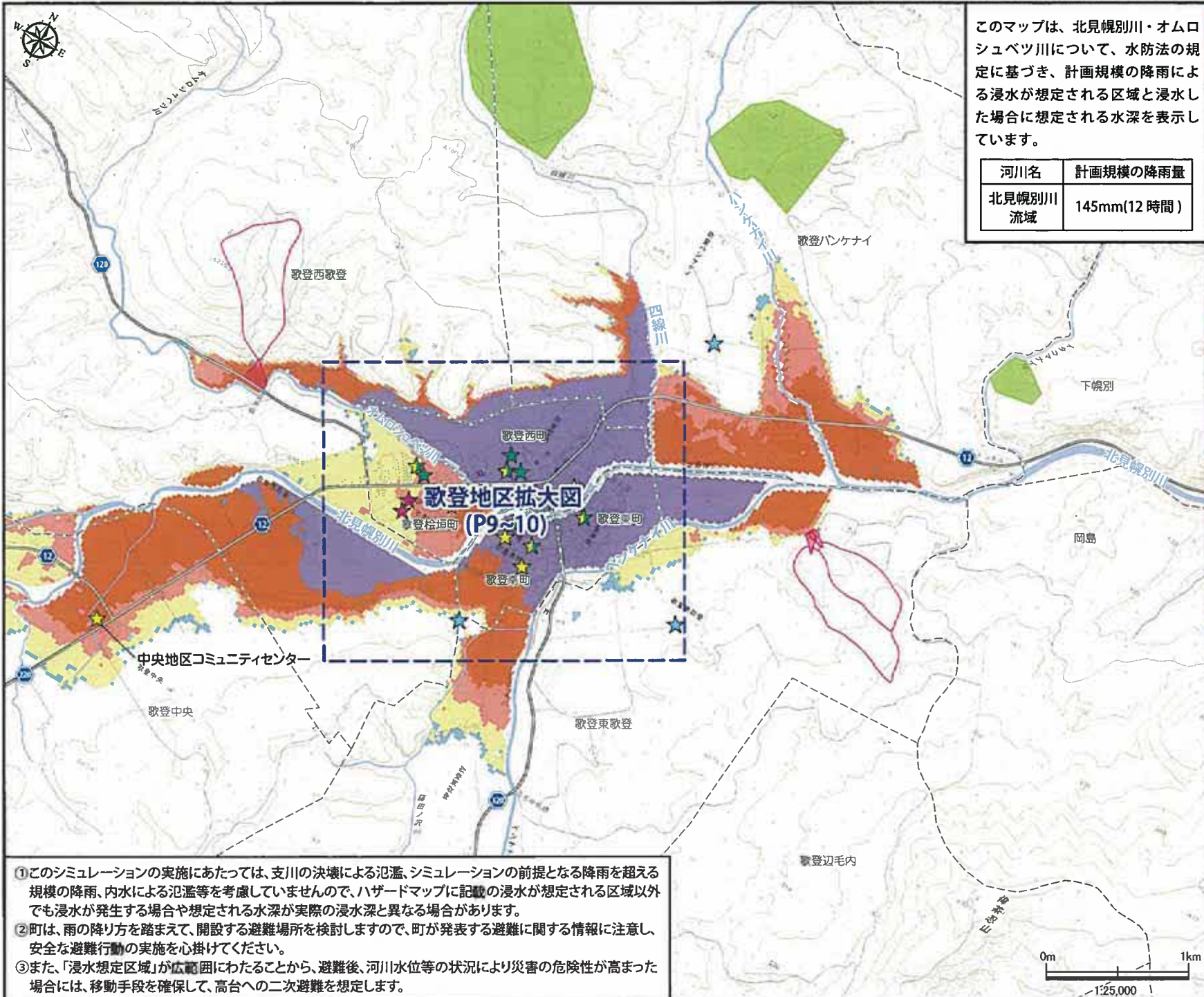
### 浸水深の目安



### 凡例

- ★ 指定避難所
- ★ 指定緊急避難場所
- ★ 福祉避難所
- ★ 指定避難所兼指定緊急避難場所
- 〰 国道
- 〰 道道
- 字界線
- 〰 土石流危険渓流
- 〰 急傾斜地崩壊危険箇所(がけ崩れ)
- 〰 地すべり危険箇所

- このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、ハザードマップに記載の浸水が想定される区域以外でも浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 町は、雨の降り方を踏まえて、開設する避難場所を検討しますので、町が発表する避難に関する情報に注意し、安全な避難行動の実施を心掛けてください。
- また、「浸水想定区域」が広範囲にわたることから、避難後、河川水位等の状況により災害の危険性が高まった場合には、移動手段を確保して、高台への二次避難を想定します。



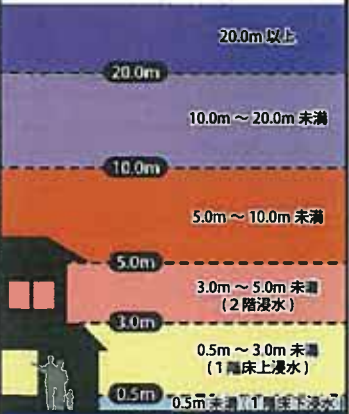
このマップは、北見幌別川・オムロシュベツ川について、水防法の規定に基づき、計画規模の降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深を表示しています。

河川名	計画規模の降雨量
北見幌別川流域	145mm(12時間)

### 桜幸町水害ハザードマップ (計画規模) No. 2 (1/25,000)

この図は、北見幌別川、オムロシュベツ川が大雨が降って堤防が壊れるなどして氾濫した場合、浸水が予想される区域と浸水の深さを示したものです。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのかを確認してください。さらに、土砂災害(土石流・がけ崩れ・地すべり)が発生するおそれがある箇所を示しています。自分の住んでいる周りに危険箇所があるか確認するとともに、この危険箇所を通らない避難場所までの経路を選択しておきましょう。

#### 浸水深の目安



凡例	
★ 指定避難所	国道
★ 指定緊急避難場所	道道
★ 福祉避難所	字界線
★ 二次避難場所	
★ 指定避難所兼指定緊急避難場所	
土砂流危険渓流	
急傾斜地崩壊危険箇所(がけ崩れ)	
地すべり危険箇所	

- ①このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、ハザードマップに記載の浸水が想定される区域以外でも浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- ②町は、雨の降り方を踏まえて、開設する避難場所を検討しますので、町が発表する避難に関する情報に注意し、安全な避難行動の実施を心掛けてください。
- ③また、「浸水想定区域」が広範囲にわたることから、避難後、河川水位等の状況により災害の危険性が高まった場合には、移動手段を確保して、高台への二次避難を想定します。

このマップは、北見幌別川・オムロシュベツ川について、水防法の規定に基づき、計画規模の降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深を表示しています。

河川名	計画規模の降雨量
北見幌別川流域	145mm(12時間)



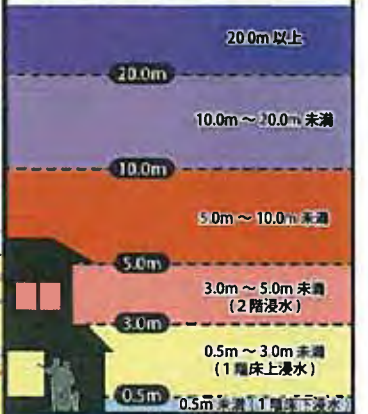
- ①このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、ハザードマップに記載の浸水が想定される区域以外でも浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- ②町は、雨の降り方を踏まえて、開設する避難場所を検討しますので、町が発表する避難に関する情報に注意し、安全な避難行動の実施を心掛けてください。
- ③また、「浸水想定区域」が広範囲にわたることから、避難後、河川水位等の状況により災害の危険性が高まった場合には、移動手段を確保して、高台への二次避難を想定します。

## 枝幸町水害ハザードマップ (計画規模) No. 3 (1/25,000)

この図は、北見幌別川が大雨が降って堤防が壊れるなどして氾濫した場合、浸水が予想される区域と浸水の深さを示したものです。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのかわ確認してください。

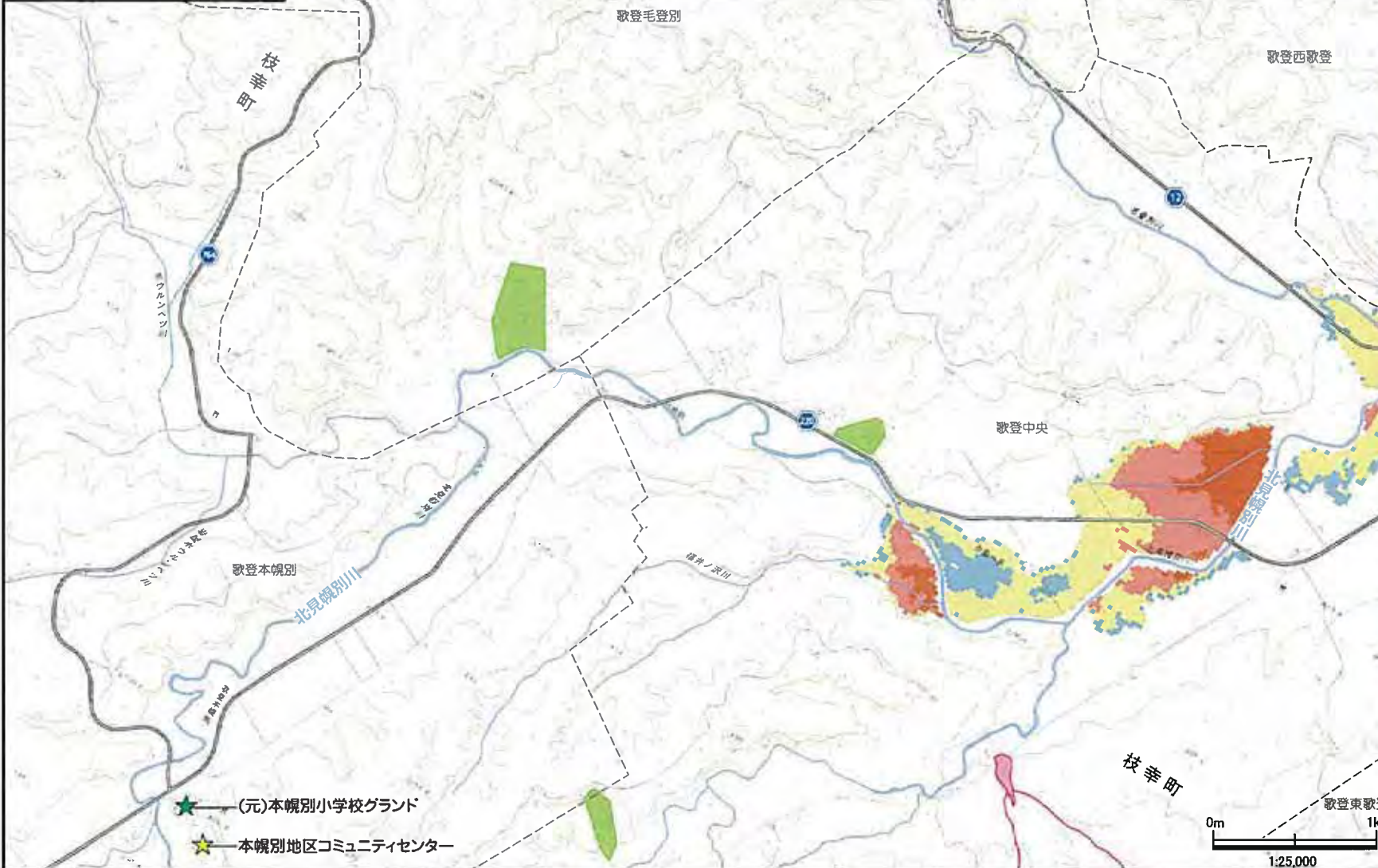
さらに、土砂災害(土石流・がけ崩れ・地すべり)が発生するおそれがある箇所を示しています。自分の住んでいる周りに危険箇所があるか確認するとともに、この危険箇所を通らない避難場所までの経路を選択しておきましょう。

### 浸水深の目安



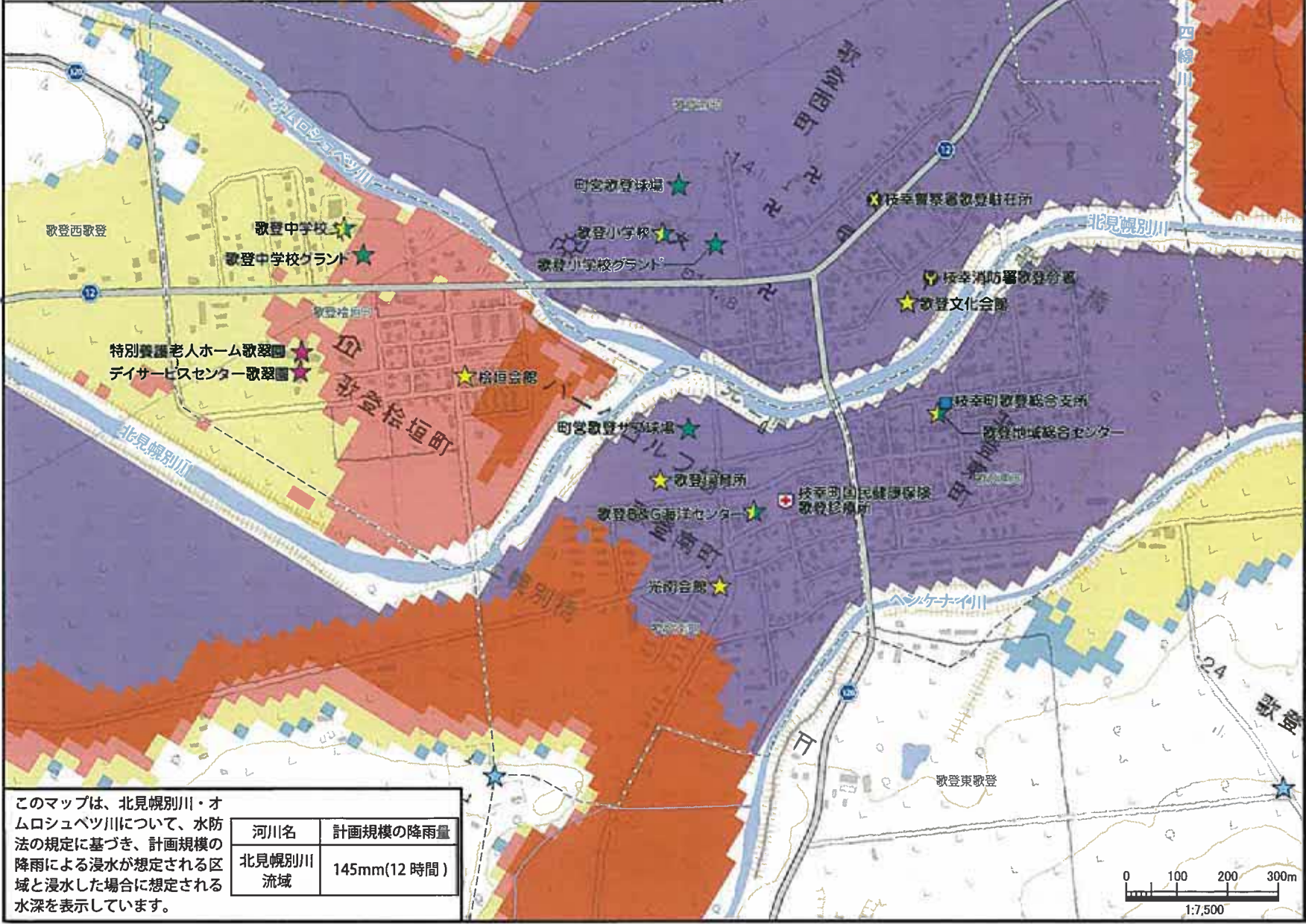
### 凡例

- ★ 指定避難所
- ★ 指定緊急避難場所
- ★ 福祉避難所
- ★ 指定避難所兼指定緊急避難場所
- 〰 国道
- 〰 道道
- 字界線
- 〰 土石流危険渓流
- 〰 急傾斜地崩壊危険箇所(がけ崩れ)
- 〰 地すべり危険箇所



- ★ (元)本幌別小学校グラウンド
- ★ 本幌別地区コミュニティセンター

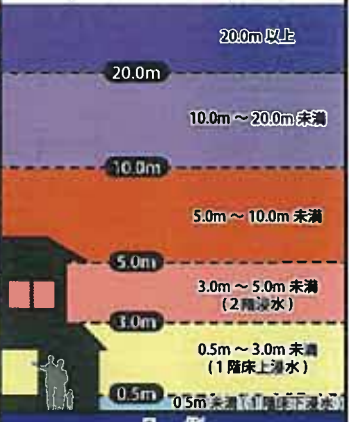
- ①このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、ハザードマップに記載の浸水が想定される区域以外でも浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- ②町は、雨の降り方を踏まえて、開設する避難場所を検討しますので、町が発表する避難に関する情報に注意し、安全な避難行動の実施を心掛けてください。
- ③また、「浸水想定区域」が広範囲にわたることから、避難後、河川水位等の状況により災害の危険性が高まった場合には、移動手段を確保して、高台への二次避難を想定します。



## 枝幸町水害ハザードマップ 歌登地区拡大図 (1/7,500)

この図は、北見幌別川、オムロシベツ川が大雨が降って堤防が壊れるなどして氾濫した場合、浸水が予想される区域と浸水の深さを示したものです。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのかを確認してください。さらに、土砂災害(土石流・がけ崩れ・地すべり)が発生するおそれがある箇所を示しています。自分の住んでいる周りに危険箇所があるか確認するとともに、この危険箇所を通らない避難場所までの経路を選択しておきましょう。

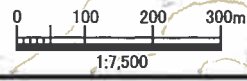
### 浸水深の目安



- 凡例
- 警察 消防 病院 役場
  - 指定避難所 国道
  - 指定緊急避難場所 道道
  - 福祉避難所 字界線
  - 二次避難場所
  - 指定避難所兼指定緊急避難場所
  - 土石流危険渓流
  - 急傾斜地崩壊危険箇所(がけ崩れ)
  - 地すべり危険箇所

このマップは、北見幌別川・オムロシベツ川について、水防法の規定に基づき、計画規模の降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深を表示しています。

河川名	計画規模の降雨量
北見幌別川流域	145mm(12時間)

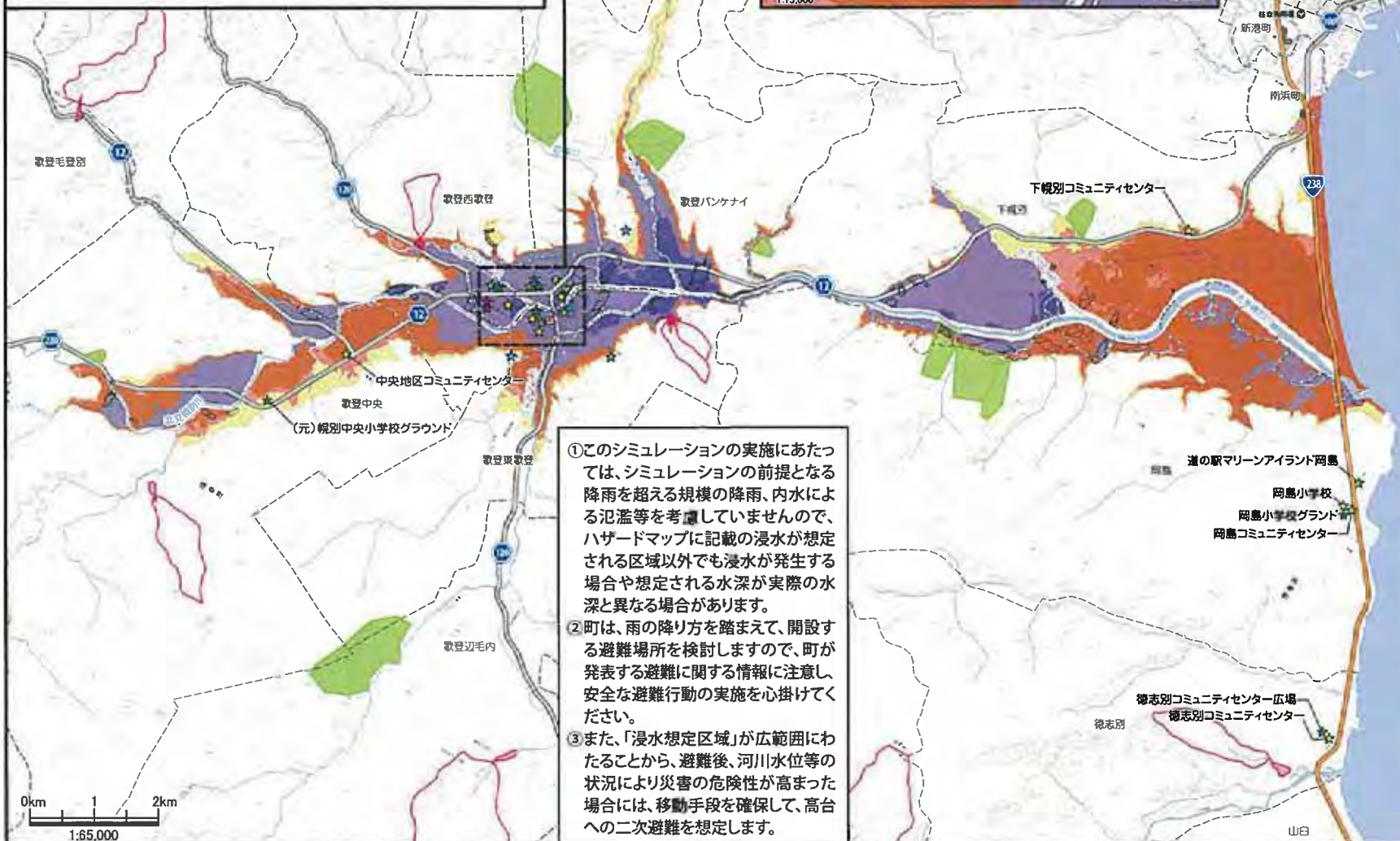


このマップは、北見幌別川・オムロシベツ川について、水防法の規定に基づき、想定し得る最大規模の降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深を表示しています。

河川名	想定最大規模の降雨量
北見幌別川流域	384mm(12時間)

また、ケモナイ川、パンケナイ川、ベンケナイ川、四線川に想定し得る最大規模の降雨による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深を簡便な手法で計算したものを示しています。

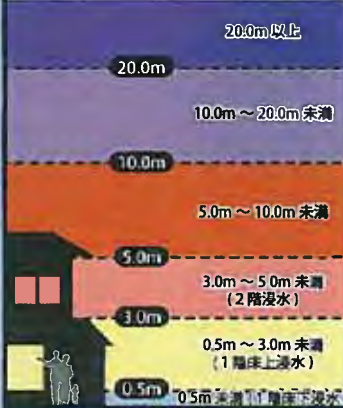
河川名	想定最大規模の降雨量	河川名	想定最大規模の降雨量
ケモナイ川	70mm(1時間)	パンケナイ川	70mm(1時間)
ベンケナイ川	70mm(1時間)	四線川	120mm(1時間)



## 枝幸町水害ハザードマップ 想定最大規模(1/65,000)

この図は、北見幌別川、オムロシベツ川、ケモナイ川、パンケナイ川、ベンケナイ川、四線川が大雨が降って堤防が壊れるなどして氾濫した場合、浸水が予想される区域と浸水の深さを示したものです。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのかを確認してください。さらに、土砂災害(土石流・がけ崩れ・地すべり)が発生するおそれがある箇所を示しています。自分の住んでいる周りに危険箇所があるか確認するとともに、この危険箇所を避らない避難場所までの経路を選択しておきましょう。

### 浸水深の目安



凡例

警察	消防	病院	役場
指定避難所	指定緊急避難場所	福祉避難所	二次避難場所
指定避難所兼指定緊急避難場所	土石流危険渓流	急傾斜地崩壊危険箇所(がけ崩れ)	地すべり危険箇所
	国道	道道	字界線

- このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、ハザードマップに記載の浸水が想定される区域以外でも浸水が発生する場合や想定される水深が実際的水深と異なる場合があります。
- 町は、雨の降り方を踏まえて、開設する避難場所を検討しますので、町が発表する避難に関する情報に注意し、安全な避難行動の実施を心掛けてください。
- また、「浸水想定区域」が広範囲にわたることから、避難後、河川水位等の状況により災害の危険性が高まった場合には、移動手段を確保して、高台への二次避難を想定します。

# 避難場所一覧表

# 適切な避難行動を確認しよう

洪水の正しい避難行動は、「**洪水が始まる前に避難する**」ことですが、万が一の事態に備え、P3～P12のハザードマップで自宅が浸水するか、浸水深はどのくらいか、避難ルートは浸水するかなどを確認し、下のフローチャートから正しい避難行動について確認しておきましょう。

指定避難所 ～自宅が被災したときなどに避難生活を送る場所									
No	施設・場所名	所在地	連絡先	洪水	土石流 及び 地滑り	高潮	地震	津波	内水 氾濫
1	下幌別コミュニティセンター	下幌別443番地21	62-4156	○	○	○	○	○	○
2	岡島コミュニティセンター	岡島3687番地9	62-3805	○	○	○	○	×	○
3	岡島小学校	岡島4800番地1	62-3882	○	○	○	○	○	○
4	道の駅マリーンアイランド岡島	岡島1978番地13	62-2860	○	○	○	○	○	○
5	歌登地域総合センター	歌登東町106-19	68-2111	○	○	-	○	-	○
6	歌登小学校	歌登西町124番地	68-2409	○	○	-	○	-	○
7	歌登文化会館	歌登西町6346番地1	68-3311	×	○	-	○	-	×
8	歌登保育所	歌登南町1076番地42	68-2364	○	○	-	○	-	○
9	光南会館	歌登南町413番地	868-3343	○	○	-	×	-	○
10	歌登B&G海洋センター	歌登南町1076番地11	68-3417	○	○	-	○	-	○
11	歌登中学校	歌登桧垣町136番地	68-2544	○	○	-	○	-	○
12	桧垣会館	歌登桧垣町132番地	899-5813	×	○	-	○	-	×
13	中央地区コミュニティセンター	歌登中央1704番地1	868-2105	×	○	-	○	-	×
14	本幌別地区コミュニティセンター	歌登本幌別1381番地10	865-1215	○	○	-	○	-	○

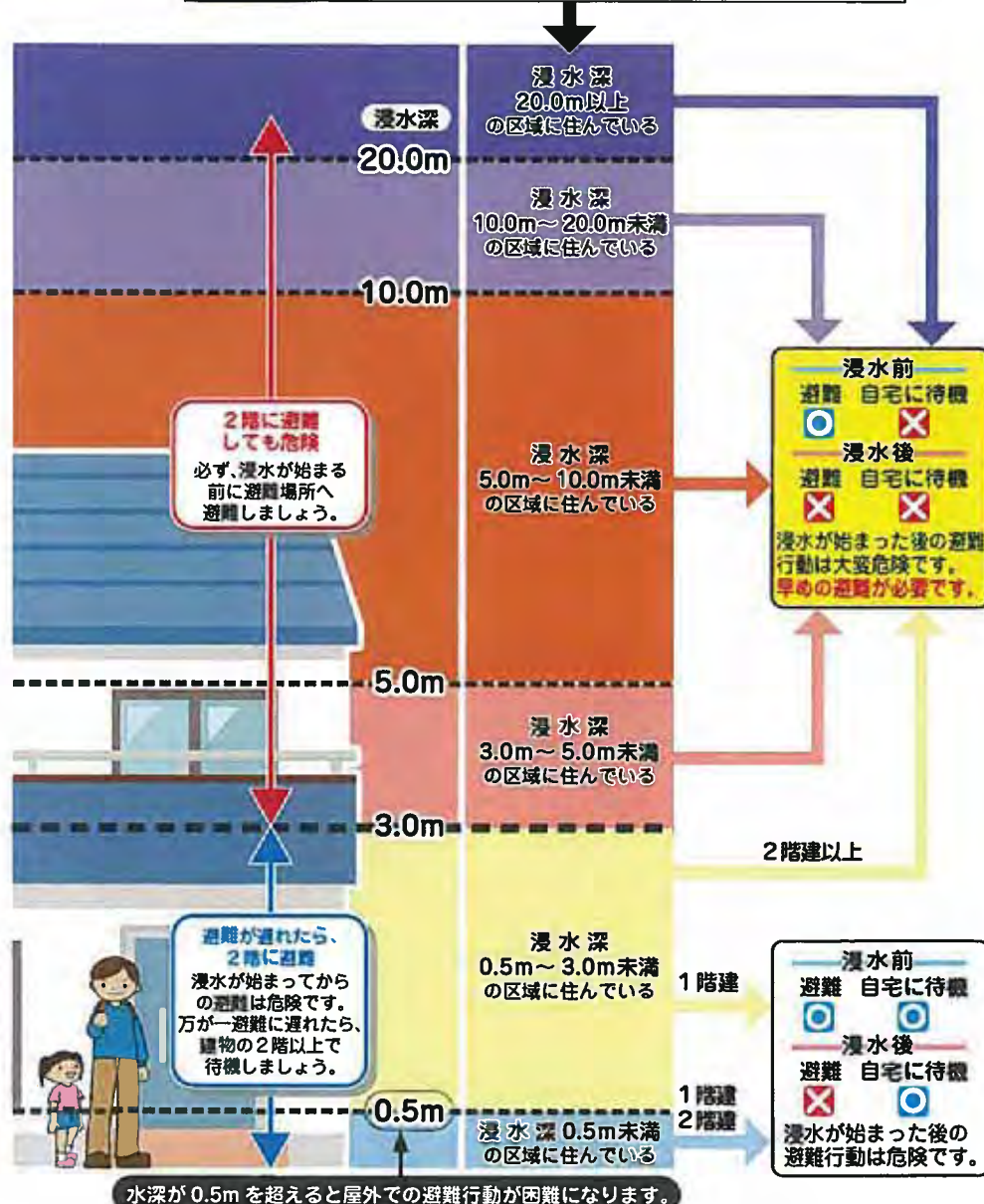
(注)指定避難所の連絡先 8××-×××× の電話は町内IP電話のみ通話可能です。

指定緊急避難場所 ～危険が切迫しているときに逃げる避難場所									
No	施設・場所名	所在地	連絡先	洪水	土石流 及び 地滑り	高潮	地震	津波	内水 氾濫
1	岡島小学校グラウンド	岡島4800番地1		○	○	○	○	○	○
2	道の駅マリーンアイランド岡島	岡島1978番地13		○	○	○	○	○	○
3	歌登中学校グラウンド	歌登桧垣町136-33		×	○	-	○	-	×
4	歌登小学校グラウンド	歌登西町124-8		×	○	-	○	-	×
5	歌登小学校	歌登西町124番地		○	○	-	○	-	○
6	歌登中学校	歌登桧垣町136番地		○	○	-	○	-	○
7	歌登B&G海洋センター	歌登南町1076番地11		○	○	-	○	-	○
8	歌登地域総合センター	歌登東町106-19		○	○	-	○	-	○
9	町営歌登球場	歌登西町124-7		×	○	-	○	-	×
10	町営歌登サブ球場	歌登南町3499番地		×	○	-	○	-	×
11	(元)本幌別小学校グラウンド	歌登本幌別3823		○	○	-	○	-	○
12	(元)幌別中央小学校グラウンド	歌登中央		○	○	-	○	-	○

福祉避難所 ～障がい者などの要配慮者が安心して生活できる避難場所									
No	施設・場所名	所在地	連絡先	洪水	土石流 及び 地滑り	高潮	地震	津波	内水 氾濫
1	特別養護老人ホーム歌翠園	歌登桧垣町142番地	68-3031	○	○	-	○	-	○
2	デイサービスセンター歌翠園	歌登桧垣町142番地	68-3066	×	○	-	○	-	×

(注)水害時には、雨の降り方や量に応じて、安全な施設を避難場所として開設しますので、注意してください。場合によっては、校幸市街地への避難も考えられます。

**スタート** あなたのお住まいは、どの浸水深の区域の中にありますか？



# その時、とるべき行動 (水位危険度レベルに応じた避難行動)



※【警戒レベル5】ではすでに災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。

【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、地域の皆さんで声を掛け合って、安全・確実に避難しましょう。

# 非常持出品・非常備蓄品を備えよう

## 非常持出品

できるだけ身軽に避難できるようにするため、非常持出品は避難に必要な物品や貴重品に限りましょう。非常持出品は、リュックサック等に入れて、すぐに持ち出せるところに置いておきましょう。

<b>ラジオ 照明器具</b> 携帯ラジオ、懐中電灯、予備の電池、ライター・マッチなど	<b>非常用食品</b> 缶詰・カンパンなど火を通さずに食べられるもの、水など	<b>貴重品</b> 現金（小銭も準備）、通帳、免許証、健康保険証のコピー、携帯電話など
<b>衣類、救急・衛生用品</b> 下着、上着、タオル、軍手、雨具、ばんそうこう、ウェットティッシュなど	<b>各自必要なもの</b> メガネ、コンタクトレンズ、補聴器、入れ歯、普段飲んでいる薬、お薬手帳のコピーなど	<b>移動に必要なもの</b> ハザードマップ、リュックサック、運動靴など

## 非常備蓄品

災害発生直後、飲料水や食料等は、入手することが困難な状況が想定されます。またライフラインが途絶えた場合を想定し、数日間（最低3日間）を生活できるように各家庭で備えておきましょう。

<b>飲料水 食料品</b> カップ麺・レトルトご飯・缶詰 レトルト食品・冷凍食品など 水は1人1日3ℓが目安	<b>カセットコンロ ガスボンベ 固形燃料 調理器具</b> 調理器具は、やかん、なべ、おたまなど	<b>洗面用具</b> 水がなくても洗える ドライシャンプー などもあるとよい	<b>生活用水</b> 断水になった時のために、風呂や洗濯機に貯水しておくのもよい
<b>寒さ・暑さ対策</b> 〔身体を温める〕ポータブルストーブ（電池式・ガスボンベ式）、使い捨てカイロ、サバイバルシート、防寒着、手袋、帽子、毛布など 〔身体を冷やす〕冷却シート、瞬間冷却材など	<b>長期保存できる日用品や生活必需品</b> ティッシュペーパー、トイレットペーパー、ラップ、予備電池、予備ガスボンベなど、災害時に入手困難になる可能性があるため、長期保存できるものは多めに備えておく		

## ！ 備えるときの注意点

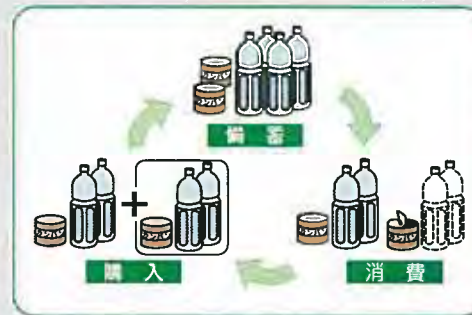
● 備蓄した食品のうっかり賞味期限切れを防ぐために…

### ローリングストック法 のすすめ



保存用の食品を備蓄しておくことは大切なことですが、いつの間にか賞味期限が切れていて破棄したり、賞味期限が迫ってあわてて保存食を食べなければいけないということに陥ったりします。そこで、**日常の中に食料備蓄を取り込むローリングストック法**という考え方があります。

ローリングストック法は、日常的に食材・加工品を少し多めに購入し、賞味期限が近いものから消費します。そして、消費した分だけを買戻すことで、常に一定量の備蓄をしておくという方法です。この方法のメリットは、備蓄量を一定に保ちながら消費と購入を繰り返すので、備蓄品の鮮度が保たれ、いざという時でも日常生活に近い食生活を送ることができることです。食品の備蓄の目安は、最低でも家族人数分×3日分です。飲料水の備蓄も同様で、定期的に料理などに使うことで循環させていきます。



● 家族構成に合わせて準備しましょう

高齢者や身体の不自由な方がいる家庭

介護・看護用品、紙おむつ、服用薬など身体状況に合わせて準備しましょう。

赤ちゃんがいる家庭

粉ミルク、ほ乳びん、おむつやミネラルウォーターなど、お子さんの状況によっては離乳食やスプーンも準備。



## 💡 停電に備えましょう

### 夜間、周りが見えない！

懐中電灯（LEDライト）、ランタンなどを必ず**乾電池**と一緒に備えましょう。ろうそくは火災を招くおそれがあるため使用は控えましょう。

### 冷暖房器具が使えない！

冷暖房器具が使えない状態でも、**（涼）をとる手段**を備えましょう。（P17「非常備蓄品」参照）

### 携帯電話に充電できない！

**乾電池式充電器**（乾電池と一緒に準備）と**モバイルバッテリー**を備えておくことで安心です。

### 家電が使えない！

家電製品の使えない状況を想定して調理手段を備えましょう。（P17「非常備蓄品」参照。）また、テレビやパソコンが使えず情報収集ができなくなるため**電池で動くラジオ**を備えましょう。

### 断水した！

停電による給水ポンプの停止などによる断水に備えましょう。（**飲料水の備蓄**、常にお風呂に水をはっておく、給水された水を入れる**ポリタンク**や、水を使わない**簡易使い捨てトイレ**を備えておく）

### 物が買えない！売っていない！

停電が起きてからでは、店に人が殺到し、商品が不足するため欲しいものが買えません。また停電が復旧しても物流が途絶えているため、食料品や日用品がしばらく買えない可能性も高いです。災害時に役立つものや普段から必要不可欠なものを**事前に多めに備えておく**ことは非常に重要です。また、**ガソリンも普段から残量が1/3ほどになったら給油**するようにしておくことで安心です。

★ 停電復旧時の火災を防ぐため、ブレーカーの電源を落とし、復旧後に電源を入れるようにしましょう。





# 礼文町の取組み

## ■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- ・ 住民に対する防災教育を自治会の避難訓練において避難行動・初期消火要領及び防災講話等を実施している。





# 礼文町の取組み

## ■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- ・ 児童生徒に対する防災教育を学校の避難訓練において防災講話を実施するとともに、高校職場体験学習において、土のう作成要領・防災機材等の使用方法を教育している。



〈令和元年度 利尻町における防災対策に関する取り組み〉

稚内地方気象台によるワークショップ

1. 日頃から機会の少ない稚内地方気象台と利尻町関係部署職員及び消防職員が、講話やワークショップを通じて、日常の業務や生活における防災・気象情報に関する情報や知識について深める。
2. 日時 令和元年11月13日（水） 午後1時10分から  
（午前11時より「プレワークショップ（気象台の気象防災講話）」を実施する）
3. 会場 利尻町役場2階大会議室
4. 主催 利尻町
5. 協力 稚内地方気象台
6. 対象 利尻町総務課職員及び消防職員
7. 内容 気象防災講話・ワークショップ
8. スケジュール
  - 11:00～11:30 プレワークショップ（気象台の気象防災講話）
  - 13:10～13:15 開会・挨拶
  - 13:15～13:20 事前アンケート
  - 13:20～13:40 ワorkshopの進行の説明
  - 13:40～14:25 災害対応グループワーク（場面1・場面2）
  - 14:25～14:35 休憩
  - 14:35～15:30 災害対応グループワーク（場面3）
  - 15:30～16:20 ふりかえり
  - 16:20～16:25 講評・まとめ
  - 16:25～16:30 事後アンケート記入  
閉会

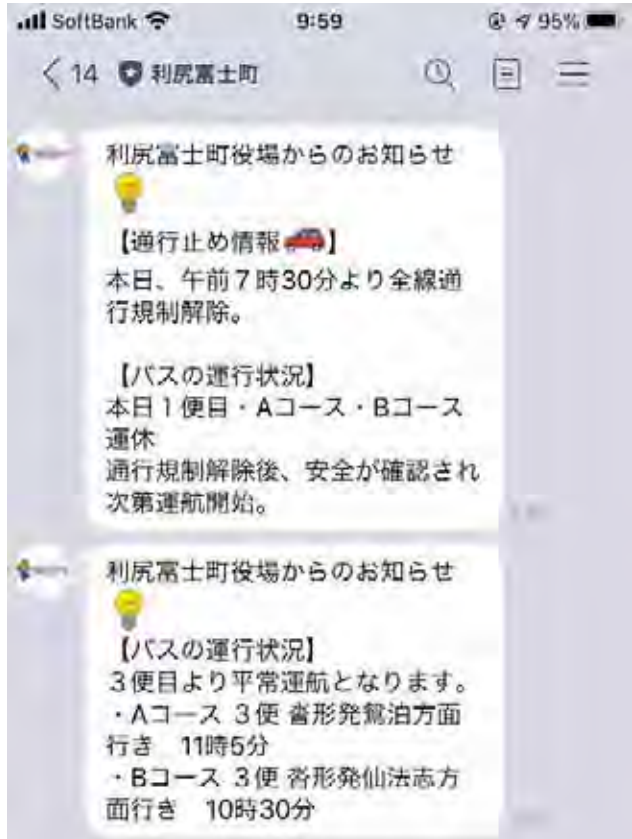
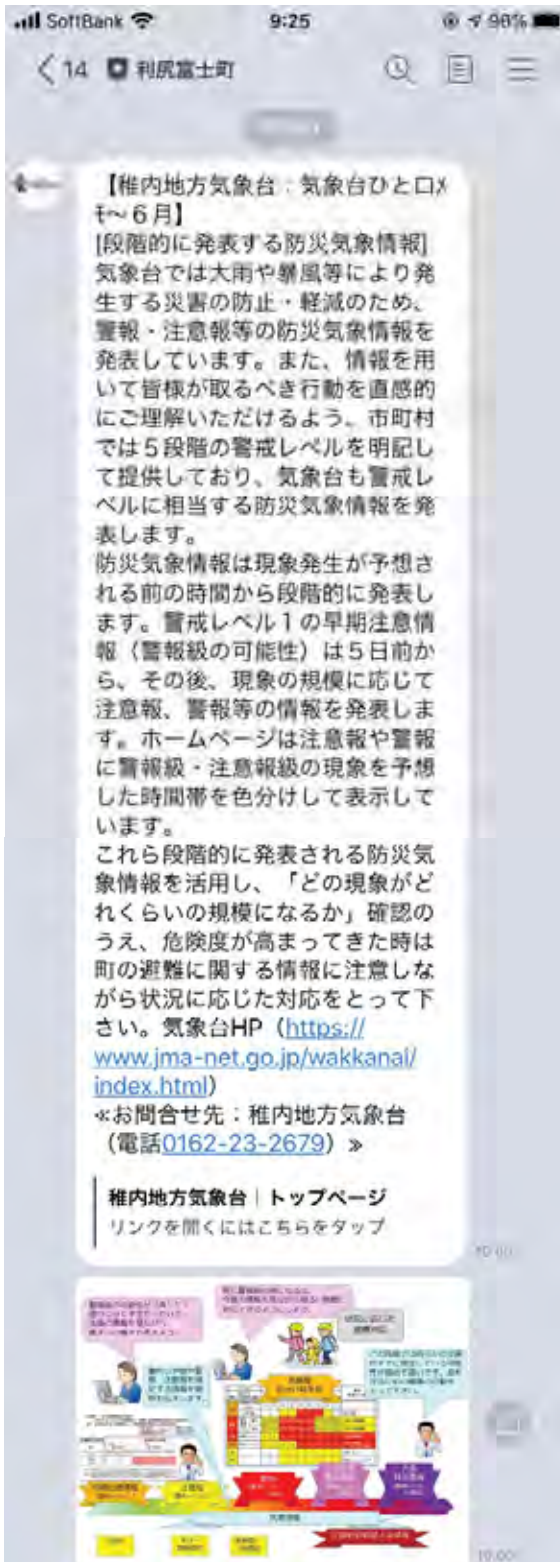
# 利尻富士町での取り組み

## ●情報伝達手段の整備

### ①利尻富士町防災 LINE の活用

- 平成 27 年度から運用している利尻富士町防災 LINE では、気象警戒情報や防災などに関する情報をその都度、配信しております。
- また、毎月稚内地方気象台から情報提供のある「気象台の一口メモ」を月 1 回配信しております。
- 6 月 12 日現在 633 名の登録者数

### 【LINE 配信例】



②スマートフォンアプリを利用し、IP 告知端末の情報が取得可能に！

- 令和元年度 IP 告知端末機を利礼 3 町で更改。
- 新たな機能として、スマートフォンでもアプリ等を利用して情報を取得することが可能となり、町内外どこにいても情報の取得が可能となりました。
- アプリ等の登録方法については、各戸配布及びHPでも周知済み。
- 対象は、利尻富士町の住民及び町外居住の家族等も登録可能です。

【アプリ表示例】



# 令和元年度における減災に関する主な取組事例

～ 稚内地区消防事務組合 ～

## ① 広域的に氾濫する地域特性を踏まえた迅速かつ確実な避難行動のための取組

### ■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

#### ④ 小学生を中心とした河川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施

##### 【具体的な内容】

各小中学校の避難訓練時に、講話の中で河川災害など、防災についての内容を盛り込んで実施している

## ② 広範囲にわたる氾濫被害から地域を守り、被害を最小化するための水防活動・復旧に関する取組

### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組

#### ④ 的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団（消防団）員数の確保を図る

##### 【具体的な内容】

関係自治体と連携するとともに、9月8日開催した「救急の日・消防フェア」にて、団員確保に向けたリーフレットの配布やポスター掲示など、周知活動を実施した。

《救急の日フェアの様子》



## ③ その他

### ■ 災害対応に関する事項

#### ① 災害時及び災害復旧に対する支援強化

#### ② 災害情報の共有体制の強化

##### 【具体的な内容】

災害発生時の関係機関との情報共有及び体制強化を図った。

なお、昨年12月12日未明に豊富町で発生した震度5弱の地震の際には、豊富支署へ害状況を確認するとともに、稚内署、猿払支署の応援部隊派遣できる準備し、支援体制を構築し、情報共有しながら対応したが、被害もなかったため、応援部隊の出動はありませんでした。

## 利尻礼文消防事務組合消防本部の取り組み

### ■ 消防団員の水防活動の円滑化に関する取り組み

利尻町消防団現地教育訓練において、大雨発生時の河川氾濫や土砂災害に対応出来るよう、土嚢の作成方法やブルーシートを使用した土嚢積み工法の訓練を実施。



## 河川の減災に係る取組について（具体的内容資料）

南宗谷消防組合消防本部

### 【 取組事項① 】

小学生を中心とした河川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施。

#### 令和元年度に取り組んだ内容（先般回答した内容）

小中学校における消防訓練と併せて、防災講話を盛り込んだ内容を実施。

#### 上記事項の具体的内容

火災や地震等の消防訓練時、必要に応じ、講話の中で河川災害についての内容に触れる。  
(開催する訓練すべてに実施している訳ではない。)

---

### 【 取組事項② 】

関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施

#### 令和元年度に取り組んだ内容（先般回答した内容）

各種防災訓練への参加

#### 上記事項の具体的内容

消防署で開催している住民参加型のイベントにおいて、避難等についての内容の講話を行う。(酪農施設への対応については行っていない。)

---

### 【 取組事項③ 】

防災無線やホームページ等を活用した住民の水防災意識啓発のための広報の充実

#### 令和元年度に取り組んだ内容（先般回答した内容）

関係機関と協力し対応した。

#### 上記事項の具体的内容

消防署で開催している住民参加型のイベントにおいて、ポスターの掲示を行い、啓発を行った。



#### 【 取組事項④ 】

的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団（消防団）員数の確保を図る

##### 令和元年度に取り組んだ内容（先般回答した内容）

関係自治体と連携し、消防団員の確保に努めた。

##### 上記事項の具体的内容

消防署で開催している住民参加型のイベントにおいて、ポスターの掲示を行い、普及啓発を行った。

---

#### 【 取組事項⑤ 】

市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取組を行う

##### 令和元年度に取り組んだ内容（先般回答した内容）

取組への参加を行った。（消防機関として「災害対応」として捉えた。）

##### 上記事項の具体的内容

昨年、9月6日に南宗谷消防組合で開催された「道北地区広域応援訓練研修会」の中で、北海道シェイクアウト訓練に参加した。広域応援訓練研修会の参加者約90名が一斉に基本行動（安全行動の1-2-3）を行った。

---

#### 【 取組事項⑥ 】

市町村向け川の防災情報による河川水位や排水設備等情報の共有

##### 令和元年度に取り組んだ内容（先般回答した内容）

関係部署での情報の共有を図った。

##### 上記事項の具体的内容

当消防本部は、各3署で構成されており、各構成町が遠隔ということもあり、気象状況が大きく異なる。このことから、「川の防災情報」を活用するが、各署での判断で閲覧し、署内において情報共有を図る。

## 【 取組事項⑦ 】

### 災害時及び災害復旧に対する支援強化

#### 令和元年度に取り組んだ内容（先般回答した内容）

災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。

#### 上記事項の具体的内容

本年は河川等の増水に伴う大規模な事案発生は認められなかったが、台風の接近や、爆弾低気圧等の発生前（予想）に係る、事前の災害対策会議等において、当該町との情報共有に努めた。

---

## 【 取組事項⑧ 】

### 災害情報の共有体制の強化

#### 令和元年度に取り組んだ内容（先般回答した内容）

協議会の場等を活用し、災害情報を共有するよう努めた。

#### 上記事項の具体的内容

前述同様、本年は河川等の増水に伴う大規模な事案発生は認められなかったが、特異的な事案があった際には、事後検証会等、災害情報の共有を図る体制が構築されている。